

①



プラタナス

周りのプラタナスに押され伸びる空間を失い、トウヒに突っ込んでいる。



被圧によりまっすぐに伸びることができず、枝数はわずか。回復の見込みはなく、周囲のプラタナスやトウヒへの悪影響を解消するため伐採。

②



プラタナス

伸びる空間がないためトウヒ
に突っ込んで徒長して伸びて
いる。



枝を満足に張ることもできず
回復の見込みはないので、伐
採。

③



ニセアカシア

隣のアカシアの被圧が顕著で、大きく傾斜して生長している。



枝は隣の木の懷に突っ込んで貫通するように伸びているが、傾いたまま徒長しており危険。

④



シダレヤナギ

料隣のヤナギが空間を占めており行き場を失い横に伸びている。幹の太さからも正常な生長の様子は見られない。バランスが悪く回復の見込みがないため、周囲の樹木を維持する目的で伐採。



⑤



シダレヤナギ

隣のプラタナスの被圧に負け衰弱し幹は折損し、傾斜して伸びている。主幹の大部分の材が腐朽し偏重を支えられなくなる恐れがある。



⑥



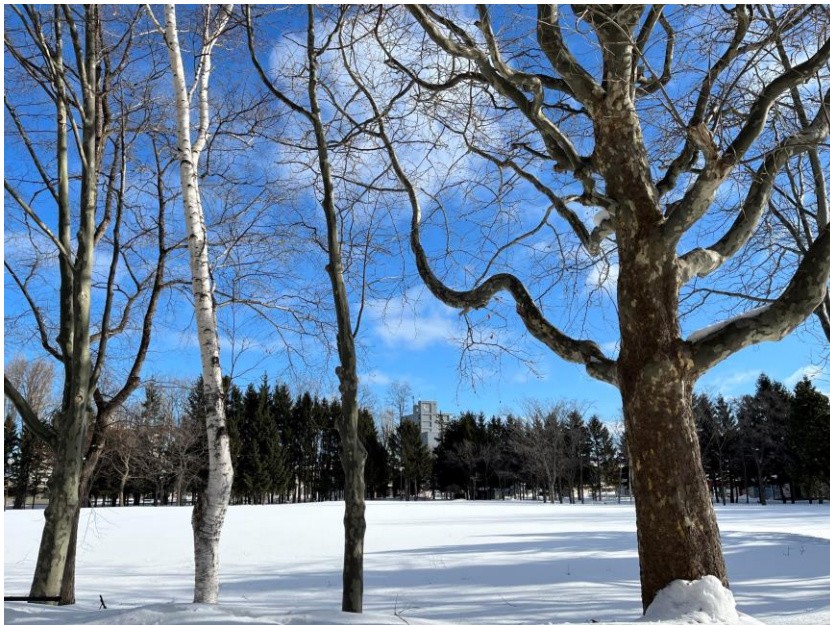
プラタナス

料隣からの被圧が著しく、主幹は折損し枝は傾斜して伸び、バランスが崩れており危険。（特に、遊戯広場まわりなので）



主幹の材は腐朽が見られ空洞化している。

⑦



プラタナス

料隣からの著しい被圧。幹は太ることができず、枝を満足に伸ばすこともできない。同時期に植えられたはずだが生長の差が異常。



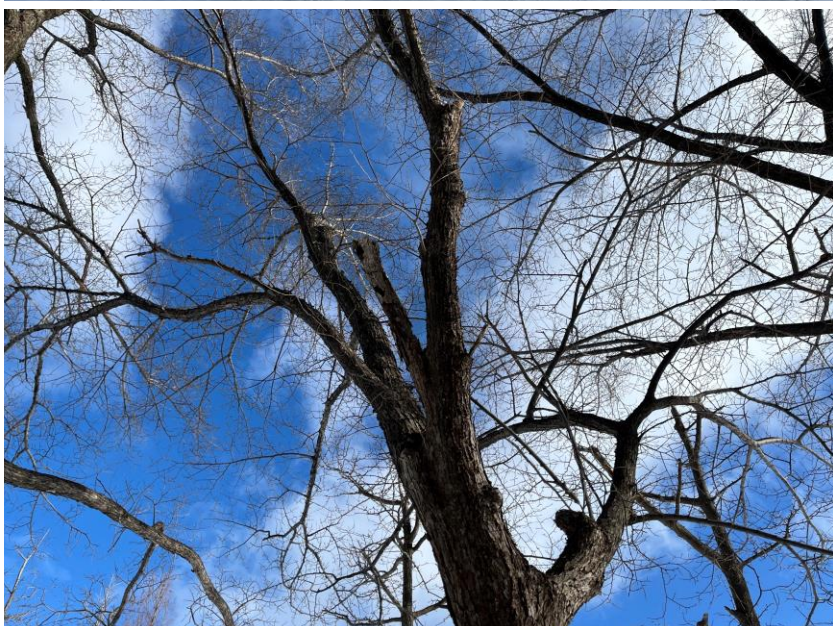
下枝は枯れあがり再生できそうな様子は見られない。

⑧



ハルニレ

周囲からの被圧によりまっすぐに伸びることができていない。



光量不足で生育不良。枯れ枝が目立つ。

⑨



ニセアカシア・ハルニレ



両側からの被圧で生育不良。
両側のハルニレの枝張りを見ると、
間のアカシアとニレが
抜けてちょうど良いくらいの
株間となりそう。回復の見込
みがない二本を伐採し両側の
健全な生育を期待する。

⑩



シラカバ

過密で相互被圧。南側にトウヒの列植があり日光が遮られているところもあり、回復を期待して間引く。



左側の列は上にしか伸びることができず徒長。右側の列は左から押されて傾斜。回復を期待できない左側の列を中心に40%を除き、右列の回復を期待する。

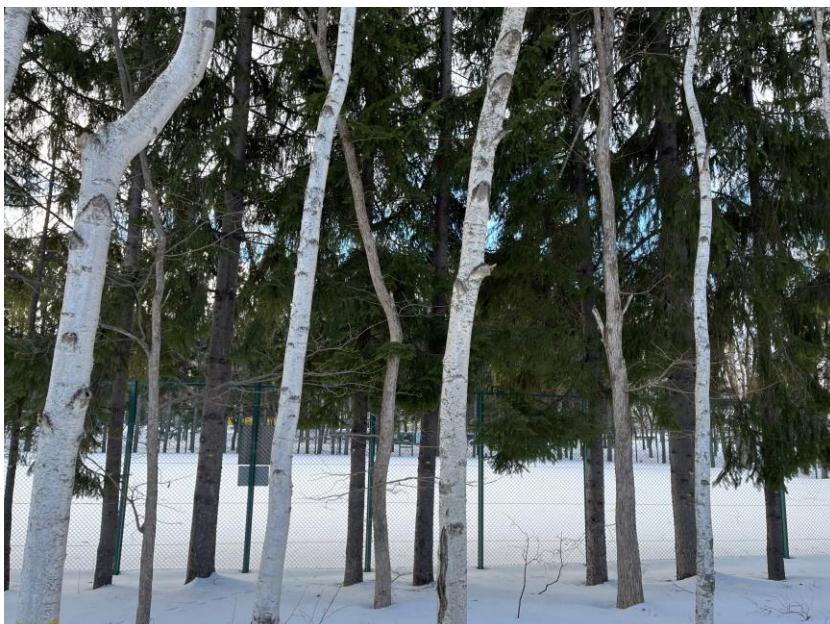
⑪



シラカバ

両側からの被圧により正常な生育ができていない。回復は期待できず、伐採することで両側のプラタナスとシラカバの回復が期待できる。

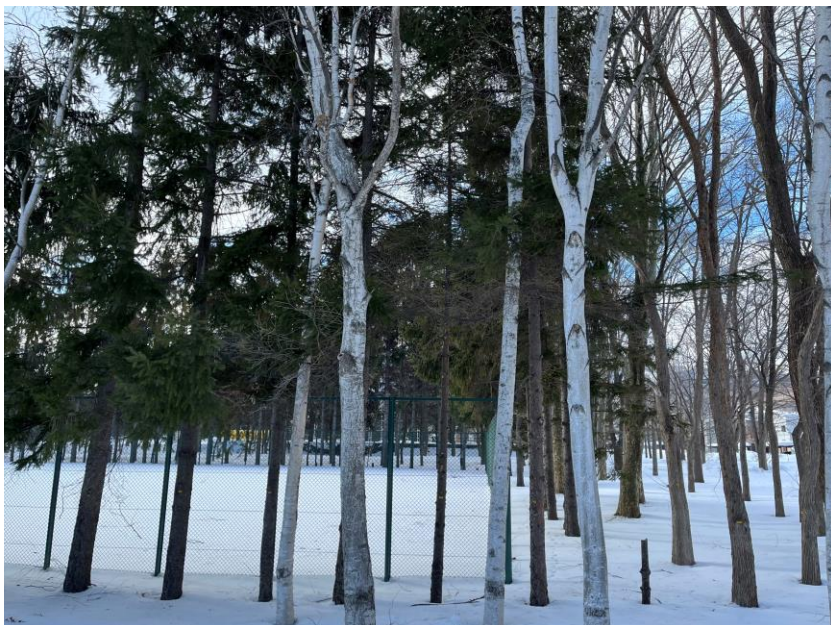
⑫



ハルニレ

過密により伸びる空間が得られず、トウヒに突っ込んでいる状態。四方を囲まれており回復は難しい。放置すると周囲の生育を阻害する要因にもあるため、伐採。

⑬



ドイツトウヒ

過密状態で徒長。過密を是正するために伐採。



下枝は異常に枯れ上がり、生きている枝はわずかしかない。幹の樹皮は荒れている。

14



ハルニレ

異常な過密状態で徒長。伐採により過密を解消し適正株間に近づける。

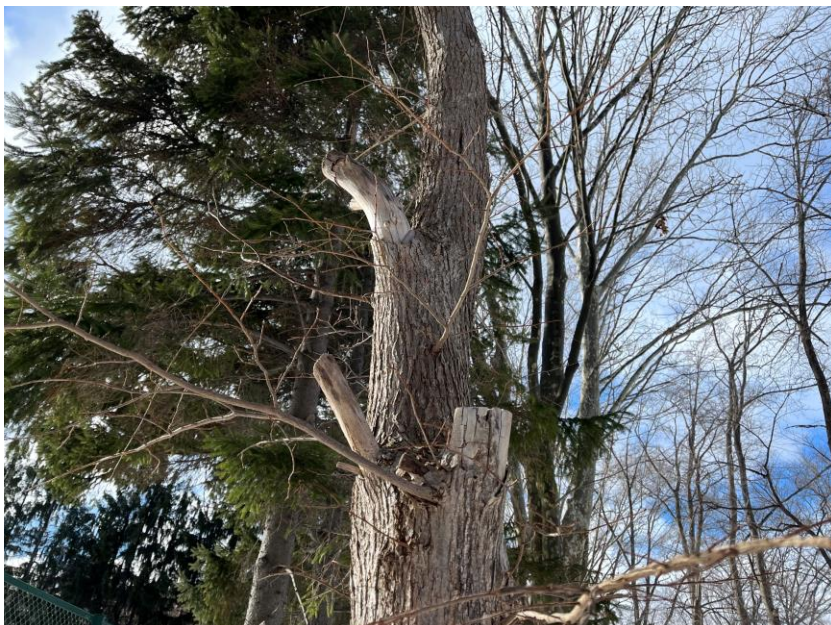


下枝はほとんどない状態。



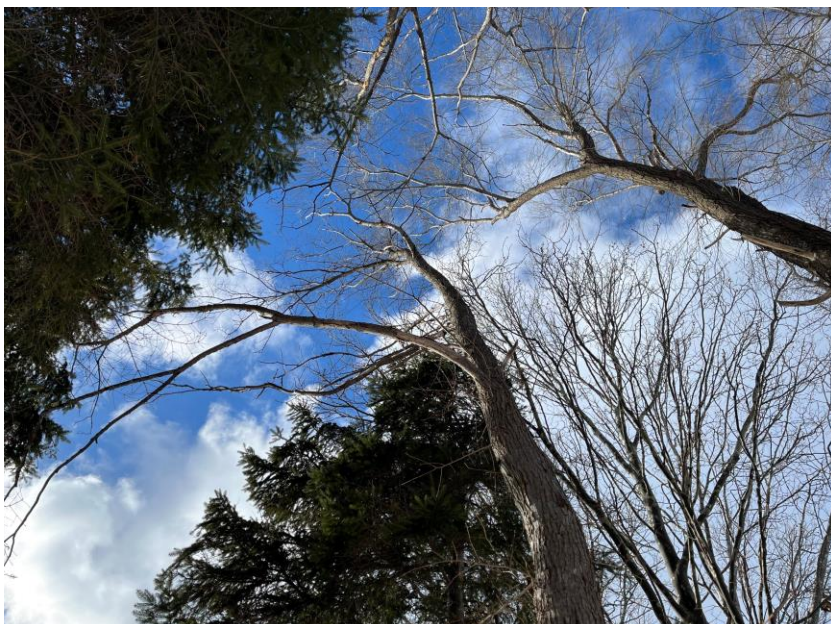
樹皮は野鳥のしわざか、荒れており、樹勢が衰えてきていることがうかがえる。

①5



ハルニレ

異常な過密状態で徒長。枝はほとんど枯れており、回復は見込めない。



被圧により傾斜し枯れ枝が目立つ。

①6



ケヤキ

現状では2.0～3.0m程度の株間だが、樹形をより自然な雰
囲気に近づけ、園路を明るい
印象にするため、目標株間7～
10mとして50%程度を間引
き。



過密により生育不良の株を除
けば概ね適切な株間を確保で
きるところが多い。